会計

一般

80

02

01

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

事業コード

186400

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

道の駅整備事業

事業名

国的 道路利用者の利便性の向上、安全で快適な道路環境の形成と地域の振興 対象 西南地域 (笹間・太田地区)	
意図 道の駅について整備を進める 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること ①道の駅整備に向けた実施設計及び用地取得等 82,379千円 ①造成工事等 27,530千円 ①プロポーザル選考委員会報酬 16千円 市民診働の形態	
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること 道の駅整備に向けた実施設計及び用地取得等 82,379千円 一造成工事等 27,530千円 一プロポーザル選考委員会報酬 16千円 一市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定 後援・協賛 補助・助成 委託 「活動指標(上記「事業概要」に対応) 単位 区分 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(1年後計委員会 上で表市「(仮称)道の駅西南」整 回)
 ○道の駅整備に向けた実施設計及び用地取得等 82,379千円 ○造成工事等 27,530千円 ○プロポーザル選考委員会報酬 16千円 市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定 後援・協賛 補助・助成 委託 活動指標(上記「事業概要」に対応) 単位 区分 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(① 花巻市「(仮称)道の駅西南」整 回 計画 4 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
 ○造成工事等 27,530千円 ○プロポーザル選考委員会報酬 16千円 市民協働の形態 海援・協賛 海助指標(上記「事業概要」に対応) (工事等代表) (工事等代表) (工事等代表) (工事等代表) (工事業代表) (工事業 (工事業) (工事業) (工事業) (工事業) (工事業) (工事業) (工事業)	J
市民協働の形態 共催 後援・協賛 実行委員会・協議会 補助・助成 事業協力・協定 委託 活動指標(上記「事業概要」に対応) 単位 区分 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(31年度) ① 花巻市「(仮称) 道の駅西南」整 備検討委員会 回 計画 実績 4 4 ② 花巻市「(仮称) 道の駅西南」隣 接店舗事業者選考委員会 回 計画 実績 0 ③ 計画 実績 1)
作民協働の形態 後援・協賛 補助・助成 委託 活動指標 (上記「事業概要」に対応) 単位 区分 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(正巻市「(仮称)道の駅西南」整 前検討委員会 上前 4 4 4 4 4 4 4 4 4	
活動指標 (上記「事業概要」に対応) 単位 区分 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(
① 備検討委員会 国 実績 4 0 ② 花巻市「(仮称)道の駅西南」隣接店舗事業者選考委員会 国 実績 1 回 ③ 計画 実績 計画 実績	計画)
(銀行) では (銀行) できる (現代) できる (現代) できる (日) できる<	
② 接店舗事業者選考委員会 国 実績 1 ③ 事画 実績	
接店舗事業者選考委員会 事調 事調 事調 実績 事調	
実績	
2.792	
	計画()
目標	11 년1/
事績 実績	
2 目標	
- 美績	
3 目標	
実績	
成果指標 の達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析
(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)
道の駅整備が目的であり成果指標の設定が出来ないため。

目	公共関与の妥当性	地域課題を解決していくためのもので、公共関与は妥当である。
的妥	○ 妥当である	
当	見直し余地がある	
性	妥当でない	
	成果の向上余地	基本構想の策定により、今後の西南地区への道の駅整備の規模、
有効	○ 向上余地がある	運営体制等決めていく必要がある。
性	向上余地がない	
'-		
	事業費・人件費の削減余地	事業費・人件費ともに、策定にかかる委託料や検討委員会、意見
効率	事業費の削減余地がある	 交換会にかかる最低経費であり、削減余地はない。
学	人件費の削減余地がある	
'-	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	西南地区に整備する予定のものだが、市内に既存の3つの道の駅
公平	受益機会の見直し余地がある	と役割分担を図りつつ、4つの道の駅が連携することにより、地
性	費用負担の見直し余地がある	域活性化を図っていくことが可能であり、適正である。
1 '-	○ 適正である	
糸	総合評価 …上記評価結果の総括	•

道の駅を核とした地域の連携強化を図り、道路利用者に安全で快適な交通環境を提供するため、西南地区へ道の駅を整備することにより、地域課題である人口減少や高齢化、基幹産業である農業の活力低下、公共交通不便地域としての買い物難民の増加や食堂が無いなどの課題を解決

しようとするものだが、今後,規模や施設レイアウト、運営体制等決めていくとともに、既存の 道の駅との連携を図っていく必要がある。

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項		事業コード	事業名
一般	08	02	01	186400	道の駅整備事業

単位・千円

					平匹.111
		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	26, 734	109, 925		83, 191
	国・県				
財源	地方債		54, 400		54, 400
内訳	その他		10, 000		10, 000
	一般財源	26, 734	45, 525		18, 791

※特定財源の内訳

地方債:54,400(合併特例債 充当率95%) その他:10,000(雑入:岩手県負担分)

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 \sim 平成 年度]

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

平成26年2月に西南地域振興協議会から要望書が提出され、実施について検討を開始した。

平成28年3月に花巻市「(仮称)西南道の駅」基本構想を策定。

平成29年度に基本設計を実施。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

- ○道の駅整備に向けた実施設計及び用地取得等 82,379千円
- ○造成工事等 27,530千円
- ○プロポーザル選考委員会報酬 16千円

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 小原正吾 内線 544

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【整備概要】

〇整備面積内訳

O == 1010 == 1001 = 1001		
整備主体	面積(m²)	構成比
市	5, 406	37. 8%
県	2,813	19. 7%
市 (コンビニ等)	6, 083	42.5%
計	14, 302	

〇建物面積内訳

整備主体	面積(m²)	構成比
市	707. 48	74. 3%
県	244. 12	25. 7%
計	951.60	

○道の駅面積内訳

県 2,813 34.2%	整備主体	面積(m²)	構成比
	市	5, 406	65. 8%
卦 8 219	県	2,813	34. 2%
0,213	計	8, 219	

【30年度】

〇事業費内訳

109,925千円

• 実施設計業務委託(土木設計) 37,984千円 • 実施設計業務委託 (建築設計) 18,360千円 · 登記測量業務委託 3,450千円 • 航空写真撮影業務委託 43千円 丁事費(造成(一期)丁事) 13,891千円 ・工事費(パイプライン移設工事) 13.639千円 ·用地取得費 9,977.22㎡ 22,542千円 ・整備検討委員報酬 (@4,000円×4名) 16千円

〇財源内訳

県負担金:10,000千円(不足分は翌年度以降で調整)

地方債 : 54,900千円 (合併特例債 充当率95% 交付税措置70%)

	起債対象外	起債対象	起債対象計算
土木実施設計	23, 627	14, 357	37,984千円×37.8% (整備面積案分)
建築実施設計	4, 719	13, 641	18,360千円×74.3% (整備面積案分)
登記測量	2, 146	1, 304	3,450千円×37.8% (整備面積案分)
航空写真撮影	43		
造成(一期)工事	4, 755	9, 136	13,891千円×65.8% (整備面積案分)
パイプライン移設工事	4, 669	8,970	13,639千円×65.8% (整備面積案分)
用地取得費	12, 071	10, 471	
委員報酬	16		
計	52, 046	57, 879	←95% 54,900千円

【H30→31繰越事業】38,482千円

・工事費(造成(二期)工事)

38,482千円

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	B	事業コード	事業名
一般	08	02	01	186400	道の駅整備事業

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。

〇整備スケジュール

<u> </u>					
	H28	H29	H30	H31	H32
基本構想	\longrightarrow				
基本設計		\longrightarrow			
実施設計			\rightarrow		
土地利用法規制関係			\longrightarrow		
用地取得			\rightarrow		
土木工事(造成一期・バイプライン移設)			\rightarrow		
土木工事 (造成二期)			_		
土木工事					
建築工事					→
オープン					\rightarrow

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款 項 目 事業]-ド 事業名							
— 舟	-般 08 02 02 184040 生活道路維持事業(総括表)							
総合	分	野暮	ъl					
計画	政	策 2-	-2 生	舌基盤の	り充実			
0,0	施	策	l 道距	各環境の	り充実			
目的 生活道路の維持管理								
対象	象 道路利用者							
意図	意図 安全で快適な通行を確保する。							
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○市道維持管理(舗装修繕、除雪等)								

	市民参回	画の	有無	[対象外)
	市民協働	sh Δ:	工公台台	共催			実行委	員会・協議会	7	事業協力・	協定
	これでは	切りり	心思	後援・協賛			補助・	助成		委託	
	活動指	票 ((上記「事	業概要」に対応)		単位	区分	29年度(実	績)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	当該年度の舗装修繕件数		C 《羊 】从 米h	路線		計画		17	17		
			1	始 称	実績		43	40			
2	当該年度の補修件数		- 米h		件	計画	2	50	250		
	当該牛及の補修件数		1+	実績	4	55	308				
3	当該年度の除雪回数				計画		10	10			
	=184	皮り	の味当じ	1女人		ш	実績		16	3	
	成果指	票 ((上記「意	図」に対応)		単位	区分	29年度(実	漬)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	业 鼓在	康	の金米を	·			目標	7, 00	00	7, 000	
	=184	皮り	ク研衣形	神姓文	m		実績	6, 18	84	7, 134	
2	古の理	जोद्ध (ートス重	 [故件数		件	目標		0	0	
	リリリノ攻	加口	こみる手	中以 计 奴		11	実績		3	3	
<u></u>	3					目標					
					実績						
成果指標 の達成度 目標値より高い		0	概	ね目標値	直どおり		目標値。	より低い			

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

舗装補修について、概ね目標どおりの結果となったが、道路補修件数については、道路及び道路施設の老朽化に現在も地震の影響による道路沈下が現れていることから補修件数の目標値を上げる。

目的	公共関与の妥当性 ○ 妥当である	市道の管理は道路管理者である市が行うものであり、道路の維持補修を 実施するのはこの事業だけである。					
妥	見直し余地がある						
当 性	妥当でない						
	成果の向上余地	舗装など道路の破損箇所については、道路パトロールや補修要望により					
対	○ 向上余地がある	毎日のように発見されているものの全てに対応出来ない状況であること から、道路パトロール、現地確認、補修対応と早期発見、早期補修につ					
性	向上余地がない	とめることで成果向上につながる。					
l ⊢							
	事業費・人件費の削減余地	道路施設の劣化や破損は今後も進むことから、補修箇所が減少する可能 性は少なく、安全確保に必要な維持補修事業費の削減余地はない。維持					
率	事業費の削減余地がある	補修箇所への早期対応が必要不可欠であり、パトロールや現地調査、苦					
性	人件費の削減余地がある	情処理等、迅速で確実な対応を効率的に行うための直営人員体制強化が					
	○ どちらも削減余地がない	望ましく人件費の削減余地はない。					
	受益と負担の適正化余地	市が管理し、不特定多数が利用する市道の修繕・補修を行う事業であ					
公 平	受益機会の見直し余地がある	り、受益者は公平・公正になっている。					
性	費用負担の見直し余地がある						
	○適正である						

総合評価 …上記評価結果の総括

計画的に舗装修繕(オーバレイ)を行うため、早期発注を実施したことにより目標延長を達成することはできたが、平成28年度まで0から1件であった道路が原因とする事故が、平成29年度・平成30年度は3件と、増となっている。

今後、良好な道路の維持管理を継続していくため、花巻市舗装長寿命化計画に則り計画的に舗 装改修を行ってはいくが、道路パトロールや現場確認、補修対応、苦情処理等への迅速で確実な 対応体制を確保していく必要がある。

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項		事業コード	事業名
一般	08	02	02	184040	生活道路維持事業(総括表)

単位:千円

		29年度 決算額(A) 30年度 決算額(B)		31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1, 224, 148	927, 622		△ 296, 526
	国・県	52, 282	74, 411		22, 129
財源中	地方債		123, 800		123, 800
内訳	その他	1,011	2,874		1,863
	一般財源	1, 170, 855	726, 537	0	△ 444, 318

事業期間	単年度繰返	期間限定	「巫成	年度	\sim	平成	年度]
3-X-V01-0	一 1 及 1 水 と	WILLIEUM	C 1 13/2	1/2		1 /4/~	1 /2/

部経営方針における目標

安全、安心で快適な生活基盤の充実に努める。

事業開始の背景・経緯

市道の管理は道路管理者である花巻市が行うものであり、生活道路を安心して通行出来るように するため。

事業概要

○市道維持管理(舗装修繕、除雪等)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・現在6班体制で道路パトロールや道路補修を行っているが、増加する市民の要望に、年々減少する職員の 状況と人口減少のためか臨時職員の作業員・運転手が確保できず、将来的には道路パトロールや直営作業 員・運転手の確保が困難となっている。
- したがって
- ・情報通信技術やAIなどを活用し、道路パトロールや補修作業の効率化を進める。
- ・道路利用者の安全確保のため、降雨時浸水が予想される箇所や、降雪や凍結時に危険となる箇所に設置し たWEBカメラ7台を活用しているが、さらに増設が必要かを検討する。

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

扫当係長 菊池 健児 内線 577

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

市道の維持管理

701,976 千円

- ◇道路補修、路面・側溝清掃、除雪等業務
- Γ ○オーバレイ補修
- ○路面補修 (クラック・段差・沈下・穴) 、道路施設補修
- ○路面・側溝・暗渠清掃 (側溝・照明・法面・防護柵
- ○施設保守点検(照明・排水ポンプ)
- ○融雪装置点検補修(花巻駅通り、里川口上町他)
- ○緑地等管理(街路樹·法面路肩除草·害虫駆除
- ○除雪 (延長1,885km) ・支障木伐採 等)
- ○補修資材(砕石・側溝・ガードレール 等)
- ○凍結防止剤、消耗品等
- ○内水対策(薬師堂川周辺市道)
- ◇道路照明·融雪施設電気料、建設機械修繕・燃料等 道路維持に係る諸経費
- □○電気・水道・通信料(照明・融雪施設・排水P電気)
- ○車両経費 (タイヤ・チューン等消耗品、燃料、車両借上料、車検、車両購入)
- ○修繕料(道路照明、建設機械・パトロールカー等)
- ○道路賠償責任保険(延長 3,467km)
- └○その他 (汚泥処理手数料、土地借上料等)
- ◇作業員・運転手・事務補助員
 - 3人 (大迫)
 - **-**○作業員
 - 6人(通年:花2、大2、石0、東1、排雪期:花0) ○運転手

除雪費計算システム システム使用料+パソコン4台

- ○事務補助員 3人(花1、大1、石0、東1)
- □○事務補助員 1人(大泊)

項目

	全体	道路課	大迫	石鳥谷	東和
	49, 447	17, 226	4, 372	10, 741	17, 108
	15 ヶ所	4 ヶ所	2 ヶ所	5 ヶ所	4 ヶ所
	185, 115	65, 240	35, 632	32, 405	51,838
})	3, 999	3,005	994	0	0
	2, 572	1, 117	0	1, 455	0
	18, 340	18, 193	0	147	0
	42, 329	25, 196	2, 998	6, 595	7,540
	211,099	211,099	0	0	0
	19,829	10, 340	1,769	3, 328	4, 392
	14, 192	9, 592	3, 284	507	809
	33, 048	0	0	33, 048	0

全体	道路課	大迫	石鳥谷	東和
28,091	21, 522	445	3,061	3,063
31, 197	7, 281	9, 089	5, 326	9, 501
30, 296	14, 498	3, 364	5, 569	6,865
4, 577	4, 577	0	0	0
6,673	2,056	955	1,462	2, 200

全体	道路課	大迫	石鳥谷	東和
21, 127	6. 452	12, 647	0	2, 028

備考

0	除雪機械の購入			46, 872	千円		
	更新機械	途	経過年数	経費		備考	
	除雪車両	車道	除雪	更新	46, 872		交付金
0	市道の維持工事			176, 992	千円		
	施 設 名			内容	事業費		備考
	農道折壁線補修	j		道路補修	31, 081	工事	
	林道細野線補修		道路補修		5, 011	委託	1件
	方八丁地下道融雪補修	5	ì	道路補修	34, 637	工事	1件 委託 1件
	切削オーバーレイ舗装	切削オーバーレイ舗装補修 大瀬川(1)線法面改修		浦装補修	93, 667	工事	5件
				去面補修	12, 596	工事	委託2件・用地1件
10	除雪費計算システ.	ム業務		1,782	千円		

	1 7.11.71			,	
C	防災WEBカメラ	设置	0	千円	
	項目	内	訳	経費	備考
	防災WEBカメラ	モニター設置		0	0台

経費

1. 782

※色作	けきの	りセルの)み入力	」してく	ださい。また	、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。				
会	計款項目事業コード				事業コード	事業名				
_	一般 08 02 03 184070		184070	生活道路整備事業						
総合計画										
目的	—									
対象	整個	備が必要	要な市道	道、市道	1利用者(車両	i、歩行者、沿線住民)				
意図	安	全で快道	題な通行	すが 可能	能になる。					
事業	く しゅうしゅう とくしゅう とくしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	…上訂	2目的を	実現する	5ための事業手法	きを記載すること				
測道事 【2 新設	事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること ○生活道路整備 測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託 道路新設改良舗装工事、現道舗装工事、側溝整備工事、防雪柵整備工事 事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償 【28年度】 新設改良(44路線)、現道舗装(16路線)、側溝整備6路線)、融雪設備整備(1路線) 【29年度】									
-			泉)、	見道舗装	€ (28路線)、	側溝整備(10路線)、融雪設備整備(2路線)				

新設改良(42路線)	、現道舗装	(3路線)、	、側溝整備	(16路線)	、融雪設備整備雪寒	(2路線)
市民参画の有無	「 対象外	-		-		

	市民参画の有無	[対象外]
	市民協働の形態	共催			実行委員	員会・協議会	7.7	事業協力・	協定
	中氏励團の形態	後援・協賛	後援・協賛		補助・助成			委託	
	活動指標 (上記「事	「業概要」に対応)	Ì	単位	区分	29年度(実	漬)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	新設改良事業実施	た P女 séi	路線		計画		46	42	
(I)	机	也岭脉		台水	実績		43	40	
2	現道舗装事業実施	伝 9 2 49	9	路線	計画		28	3	
(2)	以坦	Ш	台水	実績		28	3		
3	側溝整備事業実施路線			路線	計画		10	16	
0)	侧,再定哺 尹未天,	也吃的水	Ц	古小水	実績		10	15	
	成果指標 (上記「意	[図]に対応))	単位	区分	29年度(実	漬)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	新設改良整備(完	式) 延星			目標	2	. 3	1. 4	
1)	初改以及金洲(九	(队) 延長		km	実績	4	. 8	2. 3	
2	現道舗装整備(完	式) 延星		km	目標	6	. 3	0. 5	
(2)	坑坦	(队) 進攻		KIII	実績	6	. 4	0. 5	
(3)	② 側溝整備(完成)延長			km	目標	2	. 2	1. 3	
(3)	関/再定備(元成/)	≝ 攻		KIII	実績	1.	. 7	1. 5	
	果指標 達成度	目標値より高い	0	概	ね目標値	直どおり		目標値の	より低い

完	戊路線数や事業費等を検討し、 事	事業路線数と完成延長を決定しているため。
目的妥当性 有効性	公共関与の妥当性○ 妥当である見直し余地がある妥当でない成果の向上余地向上余地がある○ 向上余地がない	市管理道路の整備のため、妥当である。 本事業は、市道の新設改良、側溝整備を行うものであり、整備後は地域要望や道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難しい。
効率性 公平性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がない 受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある の適正である	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも限界がある。 市道は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
	総合評価 …上記評価結果の総括	さられている状況から、今後も継続的な整備が必要である。

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

成果指標の達成度の要因分析

生活道路整備事業 事務事業評価シート

事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

71.0		, , , , ,		1-2 0 011-	(10) 0 : 31) : (133) : (134) = (1) :
会計	款	項	Ħ	事業コード	事業名
一般	08	02	03	184070	生活道路整備事業

単位: 千円

					TE: 117
		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	1, 725, 627	874, 126		△ 851, 501
	国・県	693, 612	187, 396		△ 506, 216
財源力	地方債	859, 900	592, 400		△ 267, 500
内訳	その他	2,005			△ 2,005
	一般財源	170, 110	94, 330		△ 75, 780

※特定財源の内訳

- 国/社会資本整備総合交付金
- ·地方債/過疎対策事業債 合併特例債 公共事業等債 辺地対策債

			_		/ 1			b	
雪業期間	\cap	単年度繰返		期間限定	巫戒	年.度	\sim	亚克	年度]
于大利回)	十十尺标丛		初间依处	C 1 77X	1 12		1 1474	1/2/
如舌占佐笠	こせ	ける日堙							

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

交通の中心が車となったことにより、道路整備が求められるようになる。

事業概要

○生活道路整備

測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託

道路新設改良舗装工事、現道舗装工事、側溝整備工事、防雪柵整備工事

事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償

【28年度】

新設改良(44路線)、現道舗装(16路線)、側溝整備6路線)、融雪設備整備(1路線)

【29年度】

新設改良(46路線)、現道舗装(28路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(2路線)

【30年度】

新設改良(42路線)、現道舗装(3路線)、側溝整備(16路線)、融雪設備整備雪寒(2路線)

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

土木施設整備要望等

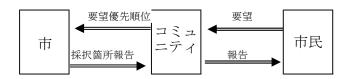
担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 駿河 世紀 内線 574

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【30年度】

〇 新設改良 平成30年度事業費 634,635千円

うち完了路線 2路線 34路線

完成延長 L=1.0km

〇 現道舗装 平成30年度事業費 13,098千円

3路線 うち完了路線 2路線

完成延長 L=0.5km

〇 側溝整備 平成30年度事業費 127,639千円

15路線 うち完了路線 1路線

完成延長 L=1.0km

O 雪寒対策 平成30年度事業費 81,252千円

2路線 うち完了路線 0路線

完成延長 L=0.4km

ほか法面・土工構造物長寿命化計画策定等 17,502千円

<H30→31繰越事業> 161,422千円 8路線

5路線 ○ 新設改良 123,046千円

2路線 側溝整備 16,800千円

1路線 雪寒 21,576千円

> 生活道路整備事業 事業説明資料

※角付きのセルのみ入力してください。また。行・列の挿入や削除け締対に行わたいでください。

※ 巴 勺	※色付きのセルのみ入力してくたさい。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでくたさい。									
会計		款	項	B	事業コード	事業名				
一般	ī,	80	02	03	188590	生活道路整備事業(繰越分)				
総合計画	計画 以東 2-2 生佔基盤の元夫									
	施	朿	1 道	烙環境∅)允美					
目的	地区要望を踏まえた道路整備									
対象	整備が必要な市道、市道利用者(車両、歩行者、沿線住民)									
意図	安全	全で快道	適な通行	テが可能	になる。					
事業	既要	…上≣	己目的を	実現する	らための事業手法	を記載すること				
道路	設計新設用地	十、用均 设改良部 也買収、	輔装工事	、現道		の業務委託 溝整備工事、防雪柵整備工事 水道等移転補償				

【28年度】 新設改良(44路線)、現道舗装(16路線)、側溝整備6路線)、融雪設備整備(1路線)

新設改良(46路線)、現道舗装(28路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(2路線)

【30年度】

新設改良(42路線)、現道舗装(3路線)、側溝整備(16路線)、雪寒(2路線)

	市民参画の有無	[対象外)
	市民協働の形態	共催		実行委	員会・協議会	,,,	事業協力・	協定
	中民励圏のが窓		補助・」	助成		委託		
	活動指標(上記「	事業概要」に対応)	単位	区分	29年度(実統	漬)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	新設改良事業実	大 攻 始	路線	計画	4	46	42	
(1)	机政以及争未天	一把山谷林	此称	実績	4	43	40	
2	現道舗装事業実	大 攻 始	路線	計画		28	3	
(2)	况但研衣争未关	此称	実績	2	28	3		
(3)	側溝整備事業実施路線		路線	計画	1	10	16	
(3)	侧冲笠佣争未天	他的脉	此称	実績	1	10	15	
	成果指標(上記「	意図」に対応)	単位	区分	29年度(実績	漬)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	新設改良整備(之成) 延星	km	目標	2.	3	1. 4	
(I)	初政以及罡渊()	元队/ 進文	KIII	実績	4.	8	2. 3	
(2)	現道舗装整備(全成) 延星	km	目標	6.	3	0. 5	
(2)	况但研衣罡佣()	元队/ 建安	KIII	実績	6.	4	0. 5	
(3)	創 側溝整備(完成)延長		km	目標	2.	2	1. 3	
(3)	関併金佣(无风)	X	AIII	実績	1.	7	1.5	
	果指標 達成度	目標値より高い	〇 概	ね目標値	直どおり		目標値。	より低い

(3	新規事業及び成果指標を変更した場合は、	その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)
完	成路線数や事業費等を検討し、事業	業路線数と完成延長を決定しているため。
目的	公共関与の妥当性	市管理道路の整備のため、妥当である。
妥	○ 妥当である	
当	見直し余地がある	
性	妥当でない	
有	成果の向上余地	本事業は、市道の新設改良、側溝整備を行うものであり、整備後 は地域要望や道路環境を満足させた水準となることから、さらな
効	向上余地がある	る向上は難しい。
性	○ 向上余地がない	
<u> </u>	東米弗 「伊弗の地域へ地	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取
効	事業費・人件費の削減余地	■ 事業を実施するうえでは、計画・設計・説明芸・関係機関協議・用地取 一得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業
率	事業費の削減余地がある	の執行に努めている。
性	人件費の削減余地がある	また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等
_	○とちらも削減余地がない	の問題があり、外部委託にも限界がある。
公	受益と負担の適正化余地	市道は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
平	受益機会の見直し余地がある	たりることは四木など。
性	費用負担の見直し余地がある	
	□□適正である	
	総合評価 …上記評価結果の総括	こしていていたことと、人名よ効はある。故はいりまでもて
1.1	直路整備に対する要望が多数寄せり	られている状況から、今後も継続的な整備が必要である。
1		

成果指標の達成度の要因分析

事後評価

※角付きのセルのみ入力してください。また。行・列の挿入や削除け絶対に行わないでください。

<u> </u>		/ / •/ •	, , , ,	100.000	(1)
会計	款	項		事業コード	事業名
一般	08	02	03	188590	生活道路整備事業(繰越分)

単位: 千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	1, 725, 627	405, 676		△ 1, 319, 951
	国・県	693, 612	126, 798		△ 566, 814
財源	地方債	859, 900	262, 500		△ 597, 400
内訳	その他	2,005			△ 2,005
	一般財源	170, 110	16, 378		△ 153,732

※特定財源の内訳

- 国/社会資本整備総合交付金
- · 地方債/過疎対策事業債 合併特例債 公共事業等債 辺地対策債

事業期間 ○ 単年度繰返 [平成 年度 平成 年度] 期間限定 部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

交通の中心が車となったことにより、道路整備が求められるようになる。

事業概要

○生活道路整備

測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託

道路新設改良舗装工事、現道舗装工事、側溝整備工事、防雪柵整備工事

事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償

【28年度】

新設改良(44路線)、現道舗装(16路線)、側溝整備6路線)、融雪設備整備(1路線)

【29年度】

新設改良(46路線)、現道舗装(28路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(2路線)

【30年度】

新設改良(42路線)、現道舗装(3路線)、側溝整備(16路線)、雪寒(2路線)

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

土木施設整備要望等

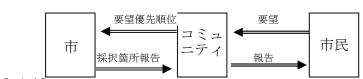
担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 駿河 世紀 内線 574

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【29年度】

〇 新設改良 平成29年度事業費 589,630千円 40路線 内完了路線 0路線 完成延長 L=1.3km

〇 現道舗装 平成29年度事業費 286,580千円 28路線 内完了路線 25路線 完成延長 L=6.4km

O 側溝整備 平成29年度事業費 10路線 内完了路線 0路線

完成延長 L=1.7km

完成延長 L=0km

〇 雪寒対策 平成29年度事業費 18,153千円 2路線 内完了路線 0路線

ほか道路ストック総点検等

76,210千円

137,984千円

〈H29繰越事業〉 22路線 405,676千円 (416,289千円)

〇 新設改良 385,490千円 21路線 内完了路線 2路線 完成延長 L=1.3km

〇 側溝整備 20,186千円 1路線 内完了路線 0路線 完成延長 L=0.5km

> 生活道路整備事業(繰越分) 事業説明資料

() 内繰越予算

事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	04	184100	橋梁維持事業(繰越分)

単位:千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	126, 411	173, 419		47, 008
	国・県	65, 203	94, 972		29, 769
財源	地方債	8, 600	68, 100		59, 500
内訳	その他				0
	一般財源	52, 608	10, 347	0	△ 42, 261

※特定財源の内訳

- · 国/社会資本整備総合交付金
- · 地方債/公共事業等債

事業期間	0	単年度繰返	期間限定	〔平成	年度	\sim	平成	年度〕

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

橋梁の老朽化対策として修繕工事している。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が一気に増加する ので、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、それに基づき事業を展開している。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

橋梁修繕設計、橋梁維持修繕工事、橋梁点検、橋梁予備設計

【27年度】

橋梁補修工事 1橋(朝日橋) 調査設計 1橋(猫塚南境橋)

【28年度】

橋梁補修工事 1橋 (川原橋) 調査設計委託業務 3橋 (横枕橋、東本館橋、中田橋) 橋梁定期点検 L≦15m 250 橋 【29年度】

橋梁補修工事 4橋(猫塚南境橋、横枕橋、東本館橋、中田橋)橋梁定期点検(L<15m 50橋、JR橋1橋 L≥15m JR橋 6橋) 調査設計委託業務 3橋 (野田橋、松園橋、天下田橋)

【30年度】

橋梁補修工事 3橋(野田橋、松園橋、天下田橋) 橋梁点検(L<15m 橋、L≦15m 橋、JR橋 5橋)

調查設計業務 10橋

意見・要望等の状況 (市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 髙橋 裕哉 内線

(単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【29年度】

	事業費	国費	地方債
・大沢橋 (修繕設計)	6,070 ≠₽	3	
・橋梁点検L<15m 50橋、JR橋1橋、L≥15 6橋JR橋	36, 971 ≠₽	3	
・朝日橋・井戸向橋	11,880 ≠₽	41,619 千円	2,400 千円
・北湯口跨道橋	3,915 ≠₽	3	
・JR跨線橋(穴沢跨線人道橋外6橋)	27, 966 ≠₽	3	
・橋守事業	302 ≠₽	一 千円	一 千円
・横枕橋、東本館橋、中田橋(繰越明許費)	17, 588	23,584 千円	6,200 手用
・橋梁点検L<15m 126橋(繰越明許費)	21, 719 ≠₽	23, 364	0, 200
合計	126, 411 ≠₽	65, 203 千円	8,600 千円

【29年度→30年度繰越事業】

	事 業 費	国費	地万熕
・天下田橋、松園橋、野田橋(修繕設計)	17,939 千円	9,965 千円	7,100 千円
・中田,猫塚南境,東本館,大沢,横枕橋梁補修工事	155, 480 千円	86, 369 千円	62, 200 千円
合計	173,419 千円	96, 334 千円	69, 300 千円

※色付	き 0	つセルの	りみ入り	りしてく	ださい	。また	、彳	テ・列の	挿入や削	除は	:絶対に行わなり	いでください。
会計		款	項	B	事業						事業名	
一 舟	克	08	02	04	184	100	橋	梁維持	事業			
総合計画		策 2	らし -2 1									
目的	橋夠	20維持	寺管理									
対象	道路利用者、市民、修繕が必要な橋梁											
意図	橋夠	な 修繕し	こより、	市内を	:安全で	快適に	.移動	動できる) ₀			
事業	概要	…上	記目的を	実現する	るための	事業手法	去を	記載する	こと			
橋【27架8年補任月本 14個	○橋梁維持 橋梁修繕設計、橋梁維持修繕工事、橋梁点検、橋梁予備設計 【27年度】 橋梁補修工事 1橋(朝日橋) 調査設計 1橋(猫塚南境橋) 【28年度】 橋梁補修工事 1橋(川原橋) 調査設計委託業務 3橋(横枕橋、東本館橋、中田橋) 橋梁定期点検 L≦15m 250 橋 【29年度】 橋梁補修工事 4橋(猫塚南境橋、横枕橋、東本館橋、中田橋)橋梁定期点検 (L<15m 50橋、JR橋1橋 L≧15m JR橋											
市国	民協賃	かの形態		共催 後援・	<u></u>			実行委員補助・具	員会・協議 助成	会	事業協力・ 委託	協定
活動	動指標	票(上記	こ「事業権	既要」に対	t応)	単位	<u>-</u>	区分	29年度(耗績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 修	—— 繕橋	梁数				橋		計画実績		4	3	
2								計画				
(a)								実績				
3	_						_	計画				

	市民協働の形態					実行委員	員会・協議会	7	事業協力・	協定	
	いって、一切を見るという。	25	後援・協賛			補助・具			委託		
	活動指標(上	記「事業	と概要」に対応)		単位	区分	29年度(実活	績)	30年度(実績)	31年度(計画)	
(1)	修繕橋梁数				橋	計画		4	3		
1					1回	実績		0	3		
2						計画					
(2)						実績					
3						計画					
0						実績					
			③」に対応)		単位	区分	29年度(実	績)	30年度(実績)	31年度(計画)	
(1)		これ 乳修繕	率(H21~H35:	%		目標		42	54		
1	全26橋)				/0	実績		27	38		
2						目標					
2						実績					
3			·			目標					
						実績					
	成果指標 の達成度 目標値より高い				概才	概ね目標値どおり			目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

修繕対象橋梁 (H21~H35:全26橋) のうち、26年度までに4橋が修繕完了。

4橋/26橋=約15%とした。

28年度までに朝日橋と折居橋、川原橋が修繕完了 7橋/26橋=約27%

29年度は40橋が完了 7橋/26橋=27%

30年度は3橋(野田橋、松園橋、天下田橋)が完了見込みであり、14橋/26橋=54%としていた

|が、猫塚南境橋、東本館橋、中田橋の3橋が完了となり、10橋/26橋=38%となる。

※H29年度実績で完了とされていた4橋について、年度内事業実施としてカウントしていた為、

H30年度完了橋梁と重複となっているもの。

			•					
目	公	共関与の妥当性	・公共施設である橋梁の補修なので妥当である。					
的妥	0	妥当である						
当		見直し余地がある						
性		妥当でない						
T_	成	果の向上余地	・前年度に橋梁補修内容の調査設計を実施し、補修内容、予算について精度を上げ					
有効		向上余地がある	ている。 ・以前より上記内容に取り組み、橋梁長寿命化において成果をあげていることか					
性	0	向上余地がない	ら、更なる向上は困難である。					
11			・公共物の老朽化は年々進むことから、現在の取り組みを維持し、継続的に事業を 進める必要がある。					
	事	業費・人件費の削減余地	・前年度に個々の橋梁補修内容ついて調査設計を実施。					
効		事業費の削減余地がある	・それにより適正な補修方法、内容を検討。 ・あわせてコスト縮減についても検討。					
率性		人件費の削減余地がある	・					
'-	0	どちらも削減余地がない	行っている。					
	受	益と負担の適正化余地	・公共施設であり、不特定多数が利用する橋梁の補修であること					
公		受益機会の見直し余地がある	から、受益者負担は公平、公正である。					
中性		費用負担の見直し余地がある						
'-	0	適正である						

総合評価 …上記評価結果の総括

- ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、早期対策の必要な橋梁を優先して修繕している。
- ・その中でも、個々の橋梁修繕については前年度に調査設計を実施し、内容の精度を上げて事業 費削減等に努めている。
- ・更なる修繕計画の効率性、経済性の向上を図るため次年度に計画見直しを実施する。

事後評価

※毎付きのセルのみ入力してください。また。行・列の挿入や削除け締対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	,
一般	08	02	04	184100	橋梁維持事業	

単位: 千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	126, 411	206, 945		80, 534
	国・県	65, 203	114, 496		49, 293
財源	地方債	8, 600	36, 400		27, 800
内訳	その他				0
	一般財源	52, 608	56, 049	0	3, 441

※特定財源の内訳

- · 国/社会資本整備総合交付金
- 地方債/公共事業等債

ı	事業期間		出在 电锡压	I	期間限定	(TF cF;	左庇		77 	左 庄 〕
ı	争兼期间		半十尺深区	l	期间限疋	(十)及	十段	\sim	十八人	十尺人
	如手上佐体によいは7日挿									

|部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

橋梁の老朽化対策として修繕工事している。ここ数年で耐用年数を超える橋梁が一気に増加する ので、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、それに基づき事業を展開している。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

橋梁修繕設計、橋梁維持修繕工事、橋梁点検、橋梁予備設計

【27年度】 橋梁補修工事 1橋(朝日橋) 調査設計 1橋(猫塚南境橋)

【28年度】 橋梁補修工事 1橋(川原橋) 調査設計委託業務 3橋(横枕橋、東本館橋、中田橋) 橋梁定期点検 L≦15m 250 橋

【29年度】 橋梁補修工事 4橋(猫塚南境橋、横枕橋、東本館橋、中田橋)橋梁定期点検(L<15m 50橋、JR橋1橋 L≥15m JR橋 6橋)

調查設計委託業務 3橋 (野田橋、松園橋、天下田橋)

橋梁補修工事 3橋(野田橋、松園橋、天下田橋) 橋梁点検(L<15m 橋、L≦15m 橋、JR橋 5橋)

調查設計業務 10橋

意見・要望等の状況 (市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 髙橋 裕哉 内線 550

(単位: 千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【30年度】

橋梁維持事業

• 橋梁修繕設計

82,328千円

花川橋、絹川大橋、高瀬橋、熊堂橋、松雲台橋、新大曲橋、浮田橋、 猫塚橋、林崎橋、新川2号橋、安野川3号橋、八合田橋 計12橋

・ 橋梁点検 L≥15 149橋

111,428千円

(内5橋 JR跨線橋含む:白橋、黒橋、松原跨線橋、似内跨線橋、花輪跨線橋)

橋守事業(事務費)

337千円

 修繕工事 野田橋、松園橋、天下田橋

12,852千円

【30年度→31年度繰越事業】

橋梁維持事業

 橋梁修繕設計 井戸向橋

91.941千円

· JR4橋 耐震設計及び橋梁補修設計 万代橋、中央橋、新愛宕橋、穴沢跨線人道橋 50,296千円

橋梁長寿命化計画策定・見直し L<15m L>15m

26,460千円

修繕工事

177,311千円

大沢橋、横枕橋、花川橋、高瀬橋、林崎橋、 絹川大橋、松雲台橋、新大曲橋、浮田橋、猫塚橋、安野川3号橋 計11橋

※角付きのセルのみ入力してください また 行・列の挿入や削除け絶対に行わたいでください

然巴们	20	アヒノレリ	ノナハノ	$I \cup C \setminus$	たさい。 また	、1」・グリッグ押入へて削除は禍と対に1」なりませってくださせ。				
会計	計款項目事		事業コード	事業名						
一般	<u>г</u>	80	02	05	184130	橋梁整備事業 (繰越分)				
分野 暮らし 政策 2-2 生活基盤の充実										
	施策 1 道路環境の充実									
目的	を 老朽化、狭あい幅員の橋梁架け替え									
対象	整備が必要な市道橋梁、市道利用者(車両、歩行者、沿線住民)									
意図	安全で快適な通行が可能になる。									
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること										
○ 香涩整備										

ノ惝楽発佣

橋梁架替工事

平成28年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担、下部工A1, P1, P2(H27-28債務負担)

太田橋:上部工製作·上部工架設工事(H28年度完成予定)

平成29年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担) 上部工桁架設工事(H29-30債務負担)取付道 路改良舗装

平成29年度

2	橋梁工事及び取付道	当 致一重	橋	計画		2	1	
(2)	倘朱工争及び取り 取	⊒龄 ↓ 尹	倘	実績		2	1	
(3)				計画				
				実績				
	成果指標 (上記「意図	」に対応)	単位	区分	29年度(実統		0年度(実績)	31年度(計画)
(1)		F遊橋、似内	%	目標	75.	-	100. 0	
•	橋、豊沢橋、太田村	喬)	/0	実績	75.	0	100.0	
2				目標				
(2)				実績				
				目標				
(0)				実績				
3				大阪				

	の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

- ・平成26年度似内橋完成(完成2橋/整備予定4橋=整備率50%)
- ·平成28年度太田橋完成(完成3橋/整備予定4橋=整備率75%)

_							
目	公共関与の妥当性	市管理橋の整備のため、妥当である。					
的妥	○ 妥当である						
当	見直し余地がある						
性	妥当でない						
_		本事業は、市道橋梁の新設・架け替えを行うものであり、整備後					
有効	向上余地がある	は道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難					
性	○ 向上余地がない	LV.					
1 '-							
	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取					
効率		得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。					
性	人件費の削減余地がある	また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等					
'-	○ どちらも削減余地がない	の問題があり、外部委託にも限界がある。					
	受益と負担の適正化余地	市道橋梁は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者					
公平	受益機会の見直し余地がある	を特定することは出来ない。					
性	費用負担の見直し余地がある						
L'±	○適正である						

総合評価 …上記評価結果の総括

・橋梁整備の事業費は高額であるが、重要性、緊急性、要望等を検討し、必要な橋梁整備を今後 も進める必要がある

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

<u> </u>		/ / •/ •	,	100.000	(1)))))) ()) ()) ()) () ()						
会計	款	項		事業コード	事業名						
一般	08	02	05	184130	橋梁整備事業 (繰越分)						

単位:千円

					十四.111
		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	367, 654	109, 435		△ 258, 219
	国・県	204, 063	59, 976		△ 144, 087
財源	地方債	147, 000	41, 300		△ 105, 700
内訳	その他				0
	一般財源	16, 591	8, 159	0	△ 8, 432

※特定財源の内訳

- 国/社会資本整備総合交付金
- ·地方債/公共事業等債

事業期間	0	単年度繰返		期間限定	〔平成	年度	\sim	平成	年度〕			
如重占体等における中華												

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

老朽化および交通量の増加に伴い、架け替えおよび拡幅による整備が必要となった。

事業概要

○橋梁整備

橋梁架替工事

平成28年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担、下部工A1, P1, P2(H27-28債務負担)

太田橋:上部工製作·上部工架設工事(H28年度完成予定)

平成29年度

豐沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担) 上部工桁架設工事(H29-30債務負担)取付道路改良舗装

平成29年度

豊沢橋:上部工架設(H29-30債務負担、取付道路(H29-H30債務負担、仮橋撤去)

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 髙橋 裕哉 内線

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

平成29年度橋梁整備事業

① 豊沢橋 事業費: 367,654千円(上部工製作H29現年分、上部工架設H29分、取付道路)

昭和8年 架橋

事業期間 平成20年度~平成30年度予定 橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m

平成29年度→平成30年度橋梁整備事業

① 豊沢橋 事業費: 109,435千円(上部工架設H30分、取付道路H30分、仮設材撤去等、

都市ガス、水道移設移転補償)

昭和8年 架橋

事業期間 平成20年度~平成30年度予定 橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	B	事業コード	事業名					
一般	ž	80	02	05	184130	橋梁整備事業					
総合		分野 暮らし									
計画	政策 2-2 生活基盤の充実										
	施	施策 1 道路環境の充実									
目的	老杯	5化、狐	夹あい帕	属員の橋	禁架 け替え						
対象	象 整備が必要な市道橋梁、市道利用者(車両、歩行者、沿線住民)										
意図	意図 安全で快適な通行が可能になる。										
事業	既要	…上፤	記目的を	実現する	るための事業手法	去を記載すること					

○橋梁整備

橋梁架替工事

平成28年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担、下部工A1, P1, P2(H27-28債務負担)

太田橋:上部工製作・上部工架設工事(H28年度完成予定)

平成29年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担) 上部工桁架設工事(H29-30債務負担)取付道路改良舗装

平成29年度

	市民参画の有	無 〔対象外)
	市民協働の形	共催			実行委員	員会・協議会	バア	事業協力・	協定
		後援・協賛			補助・	助成		委託	
	活動指標(」	-記「事業概要」に対応)	Ì	単位	区分	29年度(実	績)	30年度(実績)	31年度(計画)
1	測量調査設計			橋	計画		2	0	
Û	刈里咖且议		侗	実績		2	0		
2	场沙丁 重 15	び取付道路工事		橋	計画		2	1	
	侗未工爭及		作	実績		2	1		
3				計画					
					実績				
	成果指標(上	-記「意図」に対応)	Ì	単位	区分	29年度(実	績)	30年度(実績)	31年度(計画)
(1)	整備(完成		%		目標	75	. 0	100.0	
	橋、豊沢橋	、太田橋)		70	実績	75	. 0	100. 0	
2					目標				
					実績				
3		-			目標				
3					実績				
	果指標達成度	0	概	ね目標値	直どおり		目標値より低い		

₩	果指	煙 σ	/幸 ι	む きょうしゅう	の要	田4	→ #F

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

- ・平成26年度似内橋完成(完成2橋/整備予定4橋=整備率50%)
- |・平成28年度太田橋完成(完成3橋/整備予定4橋=整備率75%)

目的妥当性	公共関与の妥当性○ 妥当である見直し余地がある妥当でない	市管理橋の整備のため、妥当である。					
有効性	成果の向上余地 向上余地がある ○ 向上余地がない	本事業は、市道橋梁の新設・架け替えを行うものであり、整備後 は道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難 しい。					
効率性	サ来負の削減余地がある 人件費の削減余地がある	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務など多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務					
公平性	受益と負担の適正化余地	等の問題があり、外部委託にも限界がある。 市道橋梁は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。					

総合評価 …上記評価結果の総括

・橋梁整備の事業費は高額であるが、重要性、緊急性、要望等を検討し、必要な橋梁整備を今後も進める必要がある

【 事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

74		//-/-	, - , ,	,, , , ,,,	1 1
会計	款	項		事業コード	事業名
一般	08	02	05	184130	橋梁整備事業

単位・千円

					平匹.111
		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	367, 654	236, 372		△ 131, 282
	国・県	204, 063	123, 387		△ 80,676
財源	地方債	147, 000	89, 100		△ 57,900
内訳	その他		14, 651		14, 651
	一般財源	16, 591	9, 234	0	△ 7, 357

※特定財源の内訳

- · 国/社会資本整備総合交付金
- 地方債/公共事業等債

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成	年度	\sim	平成	年度〕

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

老朽化および交通量の増加に伴い、架け替えおよび拡幅による整備が必要となった。

事業概要

○橋梁整備

橋梁架替工事

平成28年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担、下部工A1, P1, P2(H27-28債務負担)

太田橋:上部工製作・上部工架設工事(H28年度完成予定)

平成29年度

豊沢橋:上部工桁製作工事(H28-29債務負担) 上部工桁架設工事(H29-30債務負担)取付道路改良舗装

平成29年度

豊沢橋:上部工架設(H29-30債務負担、取付道路(H29-H30債務負担、仮橋撤去)

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

扫当係長

菊池

内線 550 (単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

平成29年度→平成30年度橋梁整備事業

① 豊沢橋 事業費: 236,372千円(上部工架設H30分、取付道路H30分、

仮設橋撤去、都市ガス・電気通信線移転補償)

昭和8年 架橋

事業期間 平成20年度~平成30年度予定 橋梁延長 L=133.0m 幅員 W=15.0m

13節(委託費) 1,566千円 (積算資料作成)

15節(工事費) 221,003千円(上部工架設、取付道路、仮設橋撤去) 22節(補償) 13,803千円(都市ガス・電気通信線移転補償)

橋梁整備事業 事業説明資料

※色付	きのセ	ルのみ	*入力し	てください	ハ。また	、行・列の	挿入や削除は絶	色対に行わない	でください。						
会計	†	款	項	目 事	業コード		事	事業名		成果指標の達成度の要因分析					
一 舟	ъ I с)8	02	06 1	88620	交通安全	環境整備事業	(繰越分)				、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)			
	分野	古る	7			1				完	成路線数や事業費等を検討し、	事業路線数と歩道整備延長を決定しているため。			
総合	政策			基盤の充実	<i>.</i>										
計画	施策	1		環境の充実											
				K96*/ /6/											
目的	歩行者	の安全	全確保												
対象	道路利	用者、	市民												
音図	安全に	本い	て通行	できるよ	らにかる				目	公共関与の妥当性	・公共施設である道路の整備であるため妥当である。				
										的妥	し 女ヨ てめる				
						法を記載する				当	見直し余地がある				
				、用地測量 工事、融雪			学の業務委託			性					
						^{上尹} 等移転補償				有	成果の向上余地	・現況の道路敷地内で有効的に歩道整備、段差解消を実施しているため、予算内での更なる向上は困難である。			
	度】・歩	這道整備	端工事 バ	`リアフリー等(吲			舟渡方八丁線、馬	駅前南線3路線		効	門上水地がある	・今後も歩道整備等の要望に応えるため、現在の取り組みを維持			
・電線共同溝(上町成田線) 1路線 【29年度】・歩道整備工事 (城内大通り一丁目線(城内工区)、上町成田線(南城工区)、											○向上余地がない	し、事業を継続する必要がある。			
[29年])、上町		\vdash	事業費・人件費の削減余地	・歩道整備は、用地取得せずに現況道路敷地内を有効活用するな				
				「成田線)		 融雪設 	備 180m(上町成	に 注田線) 1路線	HAN.	効	東業费の削減を掛がなる	ど工夫して経費の節減に努めている。			
【30年						(花城町工区))、城内大通り一	·丁目線(城内工區	록)、	率	1 /4 車の火ルナ人 ルルンシャフ	・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限			
						は線(南城工区 日橋線) 7路	☼)、上小舟渡方/	八亅線)		性	○どちらも削減余地がない				
							ョ/ペ 設備 (上町成田	l線) 1路線			受益と負担の適正化余地	・市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用するこ			
										公		とから、市が整備するものであるため受益者負担は公平、公正で			
市目	民参画の	有無	[対	·象外)	平性	費用負担の見直し余地がある	ある。			
±5	民協働の	平/能	共	催		実行委	員会・協議会	事業協力・	協定	'-	○ 適正である				
				援・協賛		補助・.	, . , , .	委託			総合評価 …上記評価結果の総括				
活動	助指標	(上記「	事業概要	[]に対応)	単位	- ' ' '		30年度(実績)	31年度(計画)			が行うものであり、現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して			
① 当 言	该年度0	の歩道	整備事業	業実施件数	女 件	計画	4	9		歩	道整備を進め、コスト縮減等にタ	努めている。			
				1171/101179	` ''	美績	3	8							
2						計画									
						実績計画									
3						実績									
成馬	1. 上 上 担 担 担	(上記「	意図」に対	対応)	単化	2 - 10 1	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)						
77.5				1767		日趰		1.0	91 Q(III)						
① 歩i	直整備	(完成)延長		Kn	1 実績		1.0							
						目標									
2						実績									
3						目標									
						実績									
成果指標 の達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い															

交通安全環境整備事業(繰越分) 事務事業評価シート

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の插入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	B	事業コード	事業名
一般	08	02	06	188620	交通安全環境整備事業(繰越分)

単位: 千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	174, 357	210, 377		36, 020
	国・県	74, 733	116, 665		41, 932
財源	地方債	49, 200	83, 800		34, 600
内訳	その他				
	一般財源	50, 424	9, 912		△ 40,512

※特定財源の内訳

- 国/社会資本整備総合交付金
- 地方債/公共事業等債 合併特例債

	事業期間	\circ	単年度繰返		期間限定	〔平成	30	年度	~	平成	30	年度〕
--	------	---------	-------	--	------	-----	----	----	---	----	----	-----

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

○交通安全施設整備測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託

歩道整備工事、電線地中化工事、融雪装置整備工事

事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償

【28年度】・歩道整備工事 バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上小舟渡方八丁線、駅前南線3路線

· 電線共同溝(上町成田線) 1路線

【29年度】・歩道整備工事 (城内大通り一丁目線(城内工区)、上町成田線(南城工区)、

上小舟渡方八丁線、青雲台線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 6路線

・電線共同溝(上町成田線) 1路線 ・融雪設備 180m(上町成田線) 1路線 【30年度】・歩道整備工事 城内大通り一丁目線(花城町工区)、城内大通り一丁目線(城内工区)、

御田屋町鍛治町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 7路線

・電線共同溝 (上町花城町線) 1路線 ・融雪設備 (上町成田線) 1路線

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長

駿河 内線

]線 574 (単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【29年度】

· 交通安全施設整備 7路線

(上町成田線(融雪・南城工区)・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線

・城内大通り一丁目線(城内工区)・上台朝日橋線・青雲台線)

事業費 127,848千円

委託料 80,888千円 工事費 114,000千円 用地費 0千円 補償費 46,000千円

委託料(名	5支所分)
・大迫	10,340千円
・石鳥谷	5,485千円
・東和	4,957千円
合計	20,782千円

〈H29繰越事業〉 5路線

210,377千円

(214,780千円)

() 内繰越予算

・委託 43,515千円

城内大通り一丁目線(城内工区)、上町成田線(共同溝)、吹張町滝ノ沢線、 青雲台線

· 歩道工事 166,679千円

 吹張町滝ノ沢線
 47,337千円
 L=0.4km

 上台朝日橋線
 75,958千円
 L=0.3km

 青雲台線
 43,384千円
 L=0.3km

・補償 183千円 吹張町滝ノ沢線

《色作	きのセ	こルのみ	入力し	てください	、また、	行・列の挿入や削除	ネは絶対に行わない	っでください。			
会			項		業コード		事業名			成果指標の達成度の要因分析 新規事業及び成果指標を変更した場合は、そ	その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)
—f	殳 (80	02	06 18	84160	交通安全環境整備	事業		_		経路線数と歩道整備延長を決定しているため。
総合 計画 目的	政策施策		生活基道路頭	と盤の充実 環境の充実							
対象	道路和	刊用者、	市民								
				できるよ					的		・公共施設である道路の整備であるため妥当である。
						去を記載すること 牛調査算定等の業務委託	<u> </u>		妥 当性	見直し余地がある 妥当でない	
歩道 事業 【28年	整備工事 用地買い 度】・か	事、電線 収、支障 歩道整備 電線共同	地中化 物件移 工事 バ 溝(上	E事、融雪 伝補償、電 リアフリー等(吟 け成田線)	装置整備 柱・水道等 で張町滝ノ 1路線	□事	線、駅前南線3路線		有效性	成果の向上余地向上余地がある	・現況の道路敷地内で有効的に歩道整備、段差解消を実施しているため、予算内での更なる向上は困難である。 ・今後も歩道整備等の要望に応えるため、現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要がある。
【30年	・富 度】・5 谷	電線共同 歩道整備 卸田屋町 バリアフリー会	溝(上町 工事 鍛治町編 等(吹張町	成田線) 成内大通り 泉外2路線、 J滝ノ沢線	1路線 一丁目線(上町成田 、上台朝1	フリー等(吹張町滝ノ沢線 ・融雪設備 180m(J 花城町工区)、城内大道線(南城工区)、上小舟 日橋線) 7路線	上町成田線) 1路線 通り一丁目線(城内工] 渡方八丁線)		対率性	事業員の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	・歩道整備は、用地取得せずに現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して経費の節減に努めている。 ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限の事務を行っている。
市	民参画の			上町花城町 象外	「線) 1路	線 ・融雪設備 (上町	î成田線) 1路線 	1	公平	文無機式の元旦し示地がある	・市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用することから、市が整備するものであるため受益者負担は公平、公正である。
	民協働の		共	催		実行委員会・協議		協定	性	○ 適正である 総合評価 …上記評価結果の総括	
活	動指標	(上記「車		援・協賛 に対応)	単化	補助・助成 ☑ 区分 29年度(実	委託 (素績) 30年度(実績)	31年度(計画)			「うものであり、現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して
				美実施件数		計画	4 9 3 8			道整備を進め、コスト縮減等に努め	
2)						計画 実績					
3)						計画実績					
成	果指標	(上記「意	意図」に対	付応)	単位		[[] [] [] [] [] [] [] [] [] [31年度(計画)	1		
D 歩	道整備	(完成)	延長		Km	目標 実績	1. 0 1. 0				
2)						目標 実績					
3)						目標 実績					
成果技			1 煙値」	り高い		概わ日標値どおり	日煙値	上り低い			

交通安全環境整備事業 事務事業評価シート

事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の插入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	B	事業コード	事業名
一般	08	02	06	184160	交通安全環境整備事業

当点, 毛田

					単位: 十円
		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費	174, 357	191, 236		16, 879
	国・県	74, 733	79, 962		5, 229
財源	地方債	49, 200	65, 400		16, 200
内訳	その他				
	一般財源	50, 424	45, 874		△ 4,550

※特定財源の内訳

- 国/社会資本整備総合交付金
- 地方債/公共事業等債 合併特例債

事業期間	0	単年度繰返	期間	限定	〔平成	年度	\sim	平成	年度〕

部重点施策における目標

安全で利便性の高い道路の整備を進める

事業開始の背景・経緯

歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体 等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

- ○交通安全施設整備測量設計、用地測量、支障物件調査算定等の業務委託 歩道整備工事、電線地中化工事、融雪装置整備工事
- 事業用地買収、支障物件移転補償、電柱・水道等移転補償
- 【28年度】・歩道整備工事 バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上小舟渡方八丁線、駅前南線3路線
 - 電線共同溝(上町成田線) 1路線
- 【29年度】・歩道整備工事 (城内大通り一丁目線(城内工区)、上町成田線(南城工区)、 上小舟渡方八丁線、青雲台線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 6路線
- ・電線共同溝(上町成田線) 1路線 ·融雪設備 180m(上町成田線) 1路線 【30年度】・歩道整備工事 城内大通り一丁目線(花城町工区)、城内大通り一丁目線(城内工区)、
 - 御田屋町鍛治町線外2路線、上町成田線(南城工区)、上小舟渡方八丁線) バリアフリー等(吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線) 7路線
 - ・電線共同溝 (上町花城町線) 1路線 ・融雪設備 (上町成田線) 1路線

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長

駿河

内線 574 (単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【29年度】

· 交通安全施設整備 7路線

(上町成田線(融雪・南城工区)・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線

・城内大通り一丁目線(城内工区)・上台朝日橋線・青雲台線)

事業費 127,848千円

委託料 80,888千円 工事費 114,000千円 用地費 0千円

補償費 46,000千円

委託料 (各支所分) 大迫 10,340千円 • 石鳥谷 5,485千円 ・東和 4,957千円 合計 20,782千円

【30年度】

交通安全施設整備 7路線

城内大通り一丁目線(花城町工区)、御田屋町鍛治町線外2路線、上町成田線(南城工区)、 吹張町滝ノ沢線、上台朝日橋線、上町花城町線(電線共同溝)、上町成田線(融雪設 備)

事業費 170,744千円

委託料 40,237千円

内交通安全施設整備委託 22,362千円

工事費 115,410千円 用地費 0千円 補償費 15,097千円

委託料 (名	予支所分)
・大迫	10,499千円
・石鳥谷	4,995千円
・東和	4,998千円
合計	20,492千円

<H30→H31繰越事業> 95,037千円 5路線

城内大通り一丁目線(花城町工区)、城内大通り一丁目線(城内工区)、吹張町滝ノ沢線、 上台朝日橋線、上町花城町線 (電線共同溝)

※色付きのセルのみ入力してください また 行・列の插入や削除け絶対に行わたいでください

W 🗀 🗓	C V.	1 6/20	ノットノヘノ、		10000 210	<u>、 11 、 51651由56 / 日1888年8月8日8月8日11458 8 . C / 7 に C / .</u>				
会計	+	款	項		事業コード	事業名				
一般	ž 08		01	01	184610	花巻スマートインターチェンジ整備事業				
総合計画	分野 暮らし									
目的			,		, _ , .	適な道路環境の形成と地域の振興				
対象	高速	 車道路和	利用者							
意図	花衫	生パージ	キングコ	ェリアに	こスマートイン	ターチェンジを整備する				
事業	既要	…上言	己目的を	実現する	るための事業手法	きを記載すること				
. جارا كارا و	LL. LA =	5 I.								

- 広域的検討
- 国・県・市・NEXCO東日本の関係機関とICの必要性、周辺道路の現況及び整備方針の確認等の広域的検討を行う。 2 概略、詳細検討 H30
- 国・県・市・NEXCO東日本の関係機関において準備会(勉強会)を設立し、概略、整備効果及び必要性の検討を行う。
- 3 地区協議会の開催・実施計画書の策定、提出 H31

準備会(勉強会)メンバーに地域関係者等を含めた地区協議会を設立し、地域周辺も含めた整備内容を協議しながら実施 計画書の策定をし、連結許可申請を添え国土交通省に申請をする。

4 連結許可 H31

国土交通省は、花巻市から提出された実施計画書を確認、精査した後、新規事業化を計画、整備計画の決定の後に花巻市 に連結許可を行う。

5 工事着工 H32~H34

平成34年の供用開始を目指し、設計、用地買収、工事施工する。

	市民参画の有無	〔無)	
	キア物质の形態	共催			実行委	員会・協議会	× ×	事業協力・	協定	
	市民協働の形態	後援・協賛			補助・助成			委託		
	活動指標(上記「事	業概要」に対応)		単位	区分	29年度(実	績)	30年度(実績)	31年度(計画)	
1	+>=+ △				計画			1		
1	検討会			回	実績			3		
(a)	淮进△				計画			4		
2	準備会			回	実績			3		
(3)					計画					
(3)					実績					
	成果指標(上記「意	図]に対応)		単位	区分	29年度(実	績)	30年度(実績)	31年度(計画)	
(1)	準備会の設立(国	国による準備段階		0	目標			1		
(1)	調査の採択)			Ш	実績			1		
(2)					目標					
(2)					実績					
(3)					目標					
(3)					実績					
	果指標 達成度	標値より高い	0	概	ね目標値	直どおり		目標値。	より低い	

成果指標の達成度の要因分析

(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)

【平成30年度事業分】

スマートインターチェンジ整備事業を推進する過程で、国による準備段階調査の採択が必要とな る。採択されるためには必要性などの広域的検討を関係機関で行い、事業の有用性をまとめ上げ なくてはならない。平成30年度前半にはスマートインターチェンジ整備の必要性を総括し、国に よる準備段階調査が採択されることを成果とした。採択後は準備会を設立し、具体的な概略検討 や詳細検討を行った。

目	公共関与の妥当性	道路利用者の利便性、道路環境の向上、地域振興の観点で公共が					
的妥	○ 妥当である	関与することは妥当と認められる。					
当	見直し余地がある						
性	妥当でない						
	成果の向上余地	スマートインターチェンジの整備にはある程度の地域醸成も必要					
有効	○ 向上余地がある	である。					
性	向上余地がない						
'-							
効	事業費・人件費の削減余地	必要最低限の経費で整備を目指している。					
率	事業費の削減余地がある						
性	人件費の削減余地がある						
'-	○ どちらも削減余地がない						
	受益と負担の適正化余地	道路は公共財であるため公正性は確保されている。					
1	文価と貝担の過止化ホ地	垣間は五共内 (めるため五正圧は唯休されてv.る。					
公型	受益機会の見直し余地がある	担略は公共的でのおにの公正には確保で40でvの。					
平		担好は公共的(の なたの公正は確保で40(√。。					
	受益機会の見直し余地がある	担所は公共的(ののにの公正には確保で40 € v で。					

スマートインターチェンジの整備に向けては地域で作り上げる施設であることの動機付けがさら に必要である。

【事後評価

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	B	事業コード	事業名
一般	80	01	01	184610	花巻スマートインターチェンジ整備事業

単位: 千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
	事業費		9, 936		9, 936
	国・県				
財源	地方債				
内訳	その他				
	一般財源		9, 936		9, 936

※特定	財源	のは	ı≣ƙ

 事業期間
 ○
 単年度繰返
 期間限定
 〔平成
 年度
 ~ 平成
 年度〕

 部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

市道山の神諏訪線の整備が進み、当該地区の利便性が向上することに伴い、更に利便性を増すことを目的とし、東北縦貫自動車道花巻パーキングエリア内にスマートインターチェンジを整備するものである。

事業概要

- 1 広域的検討
- 国・県・市・NEXCO東日本の関係機関とICの必要性、周辺道路の現況及び整備方針の確認等の広域的検討を行う。
- 2 概略、詳細検討 H30
- 国・県・市・NEXCO東日本の関係機関において準備会(勉強会)を設立し、概略、整備効果及び必要性の検討を行う。
- 3 地区協議会の開催・実施計画書の策定、提出 H31
- 準備会(勉強会)メンバーに地域関係者等を含めた地区協議会を設立し、地域周辺も含めた整備内容を協議しながら実施 計画書の策定をし、連結許可申請を添え国土交通省に申請をする。
- 4 連結許可 H31
- 国土交通省は、花巻市から提出された実施計画書を確認、精査した後、新規事業化を計画、整備計画の決定の後に花巻市 に連結許可を行う。
- 5 工事着工 H32~H34
- 平成34年度の供用開始を目指し、設計、用地買収、工事施工する。

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

担当部署 部名 建設部

課名 道路課

担当係長 齊藤 光政 内線

<u>勺線 573</u> (単位:千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

花巻PAスマートインターチェンジ整備検討資料作成業務委託:9,936千円

花巻スマートインターチェンジ整備事業 事業説明資料